



松尾町蕪木三芳野館内に響く子どもたちの元気な声

『自分たちの地域は自分たちの手で守ろう』と平成18年に発足した『花友会』は、荒れた農地や、山林を整地して花を植えている団体です。春は菜の花、夏はひまわりやコスモスなどが、1町歩の広い面積を覆いつくします。

思い出づくりに『感謝祭』

花友会・蕪木子ども会

小雨の降る11月16日、ボランティアグループ『花友会』は、蕪木子ども会の親子35人を招待して『感謝祭』を行いました。ふるさとの思い出を作ってあげたいと行われたもので、今年で3回目。

予定していたサツマイモほりは、雨天のため19日に延期されましたが、参加者全員には、焼肉や具沢山のトン汁、釜で炊いたご飯で作ったおにぎりなどが振る舞われました。

あいさつの中で、花友会会長の東城さんは、「みんなに日ごろから物事に対して、感謝の気持ちを持ってもらいたい。親、自然、何か一つでいい」と『感謝祭』の意味を話しました。

1,138人のランナー集結

第3回さんむロードレース大会

北は北海道、南は福岡と、全国から総勢1,138人が参加したさんむロードレース大会。市内在住の3歳の女の子から、77歳の最高齢者まで年齢もさまざまです。

また、「好きな言葉はプラス思考」と話す、北海道マラソン(2,000年)で優勝経験をもつ、市立船橋高校出身の市河真由美さんが、親子の部と一般の部にゲスト出場しました。

閉会式では、「親子で、職場の仲間と楽しむ人、体力、健康を確かめる人、それぞれが和やかな雰囲気を楽しむことができていた。来年も益々沢山の方に参加してもらいたい」と金田教育長からの講評がありました。



一斉にスタートした選手たち

夜空に輝くイルミネーション

ライトフェスタinさんぶの森

天候に恵まれた12月13日、さんぶの森公園で、第10回ライトフェスタinさんぶの森が行われました。このイベントは、「せっかくできたグリーントワーに、何かできないか」と10年前、旧山武町商工会で考えられたものです。今年、11月1日から毎週実行委員会と有志により5万個の電球が取り付けられました。「今日この日を迎えることができ、みんなにありがとう。こんなに多くの人が集ったのは初めてです。有意義な時間をお過ごしください」と実行委員長の水野一孝さんが述べ、参加者と共に、ワン、ツー、・・・テンのカウントでグリーントワーに点灯。幻想的なイルミネーションは、天高く輝いていました。



虫おくりのやぐら(手前)とタワーのイルミネーション